

月刊 社会保険 6

2025 VOL.899

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

【中小企業事業主の皆さまへ】

2025(令和7)年度 両立支援等助成金のご案内

【人材確保に悩む事業主の皆さまへ】

雇用管理に助成金を活用しませんか?

人材確保等支援助成金 雇用管理制度・雇用環境整備助成コースのご案内

【中小企業事業主の皆さまへ】

人材確保等支援助成金(テレワークコース)のご案内

令和7年度「働き方改革推進支援助成金」

勤務間インターバル導入コースのご案内

労働条件ポータルサイト「確かめよう労働条件」から

電子申請ができるようになりました!!

平成9年度～20年度生まれの女性で

2024年度末までにHPVワクチンを1回以上受けた方へ

社内回覧
などにも
便利!

6月号Web版



今月号はこちらよりご覧になれます▶

<https://www.zensharen.jp/ebook/2506/>
パスワード:9vtgb

【中小企業事業主の皆さまへ】 2025(令和7)年度 両立支援等助成金のご案内	4
【人材確保に悩む事業主の皆さまへ】 雇用管理に助成金を活用しませんか? 人材確保等支援助成金 雇用管理制度・雇用環境整備助成コースのご案内	8
【中小企業事業主の皆さまへ】 人材確保等支援助成金(テレワークコース)のご案内	10
令和7年度「働き方改革推進支援助成金」 勤務間インターバル導入コースのご案内	12
労働条件ポータルサイト「確かめよう労働条件」から電子申請ができるようになりました!!	14
年金・健康保険委員活動報告 これからの委員会活動 大分バス株式会社 常務取締役 下山 洋司	16
労働法のポイント 第38回 労災保険のメリット制 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
新たな時代の働き方改革 生産性を高めるための正しい休み方 第2回 働き方改革の先にある「休み方改革」 株式会社クロスリバー代表取締役CEO 越川 慎司	20
平成9年度~20年度生まれの女性で 2024年度末までにHPVワクチンを1回以上受けた方へ	22
栄養が拓く未来 第2回 「栄養のあるまち®」が持続可能な社会を築く〈2〉 —まちづくり構想— 株式会社 朝日エル 編	23
食べて元気! 楽しい食事の秘訣 第19回 ちょっと気になる頭痛対策 管理栄養士 健康運動指導士 NR・サプリメントアドバイザー 菊池 真由子	26
心と体を守る“セルフケア”最前線 今からできる、最新エビデンス実践法 第2回 「老老介護」がやってくる! 私たちが今からできるストレス管理 特定健診・特定保健指導認定支援機関 けんこう総研代表 産業ストレス管理専門家 タニカワ久美子	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/労働保険編 34 特定社会保険労務士 柳田 恵一 介護編 36 介護支援専門員・社会福祉士 伊藤 直美	

これからの委員会活動



大分バス株式会社 常務取締役

しも やま ひろ し
下山 洋司



大型EVバス(のるっちEVバス)

EVバスののるっちEVバスを新車で導入したことです。

健康管理の主な取組みとしては、定期健康診断の受診(100%)と、その結果に基づいた産業医によるフォローアップ、協会けんぽと連携し「特定保健指導」を実施したり、生活習慣病の予防、改善とストレス解消をはかる目的で、毎年10・11月の2カ月は従業員とその家族も参加できる「社内ウォーキングイベント」の実施と協会主催の健康ウォークにも参加しています。そして、バスの運転に大きな影響を与える疾患を予防するため、脳疾患検査(MRI検査)・心臓疾患検査(動脈硬化検査)・睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査等を

豊の国おいたの紹介

大分県は、温暖な気候で海や山などの豊かな自然に恵まれ、宇佐神宮や六郷満山の国東半島、国宝に指定されている臼杵石仏をはじめとした磨崖仏などの貴重な歴史的文化遺産など多くの地域資源があります。また、全国的にも人気のある別府・湯布院など県内全域に広がる温泉は、湧出量と源泉数は日本一で、「日本一のおんせん県おおい」をキャッチフレーズに温泉をアピールしています。さらには、「The おおい」ブランドとして、関あじい園さば、おおいた和牛などの高級食材をはじめ、かぼすやしいたけなど四季折々の食材と郷土料理のとり天やだんご汁も満喫できます。

大分県の総人口は約108万人ですが、私の住んでいる大分市は、人口約47万人で、県庁所在地です。大分という地名の由来は、豊後風土記において、広々とした美田、碩田と名付けられ、のちに「大分」と書かれるようになったのが始めともされており、古代から現代まで、大分市は政治・経済・文化の中心的な役割を果たし、私もその名のついた「碩田中学校」の出身です。九州の東端、瀬戸内海の西端に位置し、周辺部を高崎山・九六位山や霊山などの山々が連なり、市の半分を森林が占めるなど豊かな緑に恵まれ、これらの山々を縫うように県下の二大河川である大野川と大分川が南北に貫流しながら別府湾に注いで

います。こう書いてみるとただの田舎のような気もしますが、大分に転動して来られた方々とお話をすると、「大分の二度泣き」と言われます。一度目は、どこにあるのか、どんな場所かもよくわからない大分へ転勤の内示を受けた時、そして二度目は、大分から離れる内示を受けた時だそうなんです。それはどういうことですかとお尋ねしたら、海の幸・山の幸の豊富さと温泉巡り、そして山歩きも出来るし、ゴルフ場も都会に比べ安くて近いということらしいです。健康にもいいし、単身赴任者の方は、たまに來られるご家族と温泉に浸かったり美味しものを食べたりと、家族孝行もでき最適だと言われています。是非みなさんも、大分へお越しください。

事業所の紹介

弊社は、初代社長佐藤恒彦が昭和12年11月10日に創立して、今年で88周年を迎えます。経営理念「奉仕」と「人間尊重」のもと、大分市から大分県南部や豊肥地区等のエリアで、公共交通としての役割を果たしています。昭和30年代の高度成長期には輸送力を増強しましたが、マイカーの増加や人口減少によ



別府温泉



国宝臼杵石仏

る地域の過疎化で、昭和40年代前半をピークに売上が減少に転じたため、不動産事業(団地開発・住宅販売・マンション販売等)や家電販売業等経営の多角化を図りました。しかし、平成に入りバブル崩壊等もあり、バス事業は赤字、不動産事業やその他の事業も低迷したため、事業の見直しを行いスリムな経営でバス事業の黒字化を目指しました。2019年ラグビーワールドカップ大分開催頃までは比較的順調でしたが、新型コロナウイルス拡大からは収入が激減し、収束してからも軽油単価の上昇等の経費負担増や乗務員不足によるダイヤの減便等規模縮小せざるを得ない状況となっています。最近の明るい話題としては、持続可能な地域社会の実現を目指す会社として、CO2削減に貢献し、環境に優しく快適な移動手段を提供できるように、九州島内(7県)で初めてとなる大型路線

社会保険委員として

実施していることが評価され、「健康経営優良法人」の認定を受けています。様々な取組の中で苦労している点といえば、バス乗務員の肥満度が改善されにくいことや、産業医による有所見者面談において、日中の時間帯は乗務しているため、面談機会を作りにくいというようなことがあります。お客様に安全・安心を提供し、快適に目的地までお届けすることを最大の使命として、今後も関係機関と共に様々な取り組みを行いながら、社員が健康に働くことができるよう取り組んでいきたいと思います。

私は昭和62年3月に入社し、入社当時から貸切バス誘致や不動産事業の営業部門の担当をしながら野球部に所属し、社会保険の野球大会にも選手として出場していました。平成11年に人事課に異動になってから、社会保険事務所主催の各種研修会や社会保険委員会の視察研修旅行・ボーリングやミニバレーボール大会に参加させていただき、事務所の職員の方や社会保険委員の方たちと交流し、反省会と称した飲み会も行つて懇親を深めさせていいただきました。その時の方々は、いまだに交流させていただいています。平成29年に総務部長となり委員に委嘱され、その後各会長職を受け継いでおります。大分県では、大分・別府・佐伯・日田の各年金事務所のプロッ

クに分かれた委員会それぞれ活動していますが、私の所属する大分年金委員会の活動としては、年2回の役員会(8月・2月)と各種研修会(随時)・全国健康保険協会大分支部と各年金事務所の共催の表彰伝達式(11月)や中学・高校を中心とした教育機関等での年金セミナー開催と社会保険協会主催の健康ウォーク(11月)等が行われています。しかし、ミニバレーボール大会はここ数年は感染症拡大等もあり参加者が少なく開催されておられません。会員数や委員数も減り、それに伴い役員になる方も減っています。過去のような活動が実施されていないものもあります。最近では、社会保険加入者の生活にも直接影響するよ

るだけでなく、研修を通じて異業種の皆様や県内外の各委員会の方々と交流できる貴重で有意義な経験でもあります。会長としての経験は浅いですが、皆様のご協力を仰ぎながら、今後とも会員数・委員数を増やし、委員会活動を活発に行っていきたいと考えております。

おわりに

全国の年金委員・健康保険委員の皆さまのますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、結びの言葉とさせていただきます。

(大分県社会保険委員会連合会会長・大分年金委員会会長)



大分バス金池ビル